

グループ

○どんな病気？

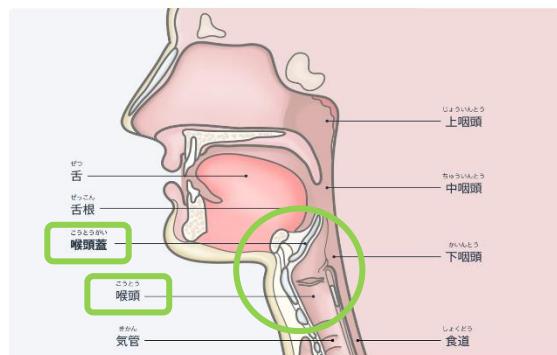
ウイルスに感染し、のどの奥の喉頭という部分に炎症が起こり、腫れてしまう病気です。

はじめは、発熱やかぜの時と同じような咳ですが、しだいに声がかすれて犬の遠吠えのような「ケンケン」した咳をするようになります。

喉頭は空気の通り道として大事な場所ですが、この部分が炎症で腫れるため、咳だけではなく、呼吸困難を引き起こすこともあります。

○おもな症状

- ・声がかかる
- ・イヌが吠えるような（犬吠様咳嗽）ケンケン咳
オットセイの鳴くような咳
- ・息を吸う時にゼーゼー、ヒューヒューする。
- ・夜間に咳、呼吸困難が悪化する傾向があります。



○治療

- ・喉頭の腫れをとる吸入（ボスミン）を行います。
- ・症状に応じて、喉頭の腫れをとるためステロイド薬を処方します。

○の部分が喉頭で、役割が3つあります。

気道確保：空気を通す

誤嚥防止：呼吸をするための通路に異物がはいらないようにする

発声：声帯を使って発声する。

○自宅での注意点

- ・室内の加湿
- ・シャワーを流して湯気をたてて、お子さんを浴室につれていいくと、加湿効果で咳がおちつくことがあります。
- ・泣くと咳が悪化します。
- ・夜間に咳が悪化する傾向があります。

① 息苦しそうなとき

② 咳がひどくて横になれないとき、眠れないとき

このような症状があったら、速やかに救急外来を受診してください。